

## 労働力人口

平成16年平均の15歳以上人口は609万2千人で、前年に比べ2万9千人(0.5%)増加しました。このうち、労働力人口は389万9千人で、前年に比べ4千人(0.1%)増加しました。

労働力人口を男女別にみますと、男性は233万5千人、女性は156万5千人で、前年に比べ男性は1千人(0.0%)、女性は5千人(0.3%)それぞれ増加しました。(第1表参照)

## 労働力人口比率

労働力人口比率は64.0%で、前年に比べ0.2ポイント低下しました。また、全国の平成16年平均(60.4%)と比べて3.6ポイント上回っています。

男女別にみますと、男性は77.1%、女性は51.1%で、前年に比べ男性は0.3ポイント、女性は0.1ポイントそれぞれ低下しました。(第1表参照)

## 就業者

平成16年平均の就業者数は376万2千人で、前年に比べ2万3千人(0.6%)増加しました。

男女別にみると、男性は225万2千人、女性は151万人で、前年に比べ男性は1万3千人(0.6%)、女性は1万人(0.7%)それぞれ増加しました。

就業者数の推移を平成11年以降についてみると、11年は減少しましたが、12年は増加に転じました。13年、14年は2年連続して減少しましたが、15年、16年は2年連続して増加しました。

(表1、第1表参照)

表1 就業者数の推移

	男			女			計		
	実数	対前年		実数	対前年		実数	対前年	
		増加数	率		増加数	率		増加数	率
平成11年	3748	△ 24	△ 0.6	2254	△ 13	△ 0.6	1493	△ 12	△ 0.8
12	3770	22	0.6	2254	0	0.0	1516	23	1.5
13	3745	△ 25	△ 0.7	2242	△ 12	△ 0.5	1503	△ 13	△ 0.9
14	3715	△ 30	△ 0.8	2235	△ 7	△ 0.3	1480	△ 23	△ 1.5
15	3739	24	0.6	2239	4	0.2	1500	20	1.4
16	3762	23	0.6	2252	13	0.6	1510	10	0.7

## 産業別就業者

就業者数を主な産業別でみると、建設業は29万9千人(うち雇用者23万9千人)、製造業は105万3千人(同98万人)、情報通信業は6万1千人(同6万人)、運輸業は20万5千人(同19万6千人)、卸売・小売業は64万4千人(同56万9千人)、飲食店、宿泊業は20万7千人(同15万1千人)、医療、福祉は24万3千人(同22万5千人)、サービス業(他に分類されないもの)は50万4千人(同40万8千人)でした。

前年に比べ卸売・小売業は2千人(0.3%)、サービス業(他に分類されないもの)は3万9千人(8.4%)それぞれ増加しましたが、建設業は1千人(△0.3%)、製造業は7千人(△0.7%)、情報通信業は7千人(△10.3%)、運輸業は4千人(△1.9%)、飲食店、宿泊業は2千人(△1.0%)それぞれ減少しました。なお、医療、福祉は、増減がありませんでした。

また、産業別の雇用者数を前年と比べると、建設業は4千人(1.7%)、卸売・小売業は6千人(1.1%)、サービス業(他に分類されないもの)は2万8千人(7.4%)それぞれ増加しました。製造業は7千人( $\Delta 0.7\%$ )、情報通信業は6千人( $\Delta 9.1\%$ )、運輸業は3千人( $\Delta 1.5\%$ )、飲食店、宿泊業は5千人( $\Delta 2.5\%$ )それぞれ減少しました。なお、医療、福祉は、増減がありませんでした。(表2、第1表参照)

表2 主な産業別雇用者数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業 (他に分類されないもの)
平成16年	239	980	60	196	569	77	151	225	126	408
増減数	4	$\Delta 7$	$\Delta 6$	$\Delta 3$	6	8	$\Delta 5$	0	$\Delta 9$	28
増減率	1.7	$\Delta 0.7$	$\Delta 9.1$	$\Delta 1.5$	1.1	11.6	$\Delta 2.5$	0.0	$\Delta 6.7$	7.4

### 完全失業者(率)

平成16年平均の完全失業者数は13万8千人で、前年に比べ1万7千人( $\Delta 11.0\%$ )減少しました。

男女別にみると、男性は8万3千人、女性は5万5千人で、前年に比べ男性は1万2千人( $\Delta 12.6\%$ )、女性は5千人( $\Delta 8.3\%$ )それぞれ減少しました。

また、全国の平成16年平均の完全失業者数は313万人(前年は350万人)となっています。

(第1表、参考表参照)

### 完全失業率

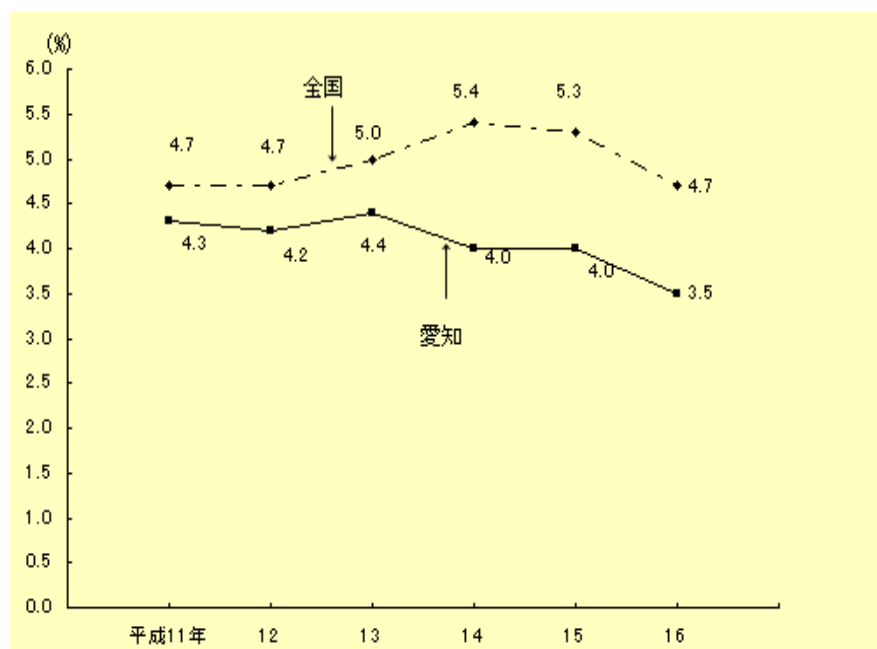
平成16年平均の完全失業率は3.5%で、前年に比べ0.5ポイント低下しました。

男女別にみると、男性は3.6%、女性は3.5%で、前年に比べ男性は0.5ポイント、女性は0.3ポイントそれぞれ低下しました。

また、全国の平成16年平均の完全失業率は4.7%で、男性は4.9%、女性は4.4%となっています。

(図1、第1表、参考表参照)

図1 完全失業率の推移(愛知・全国)



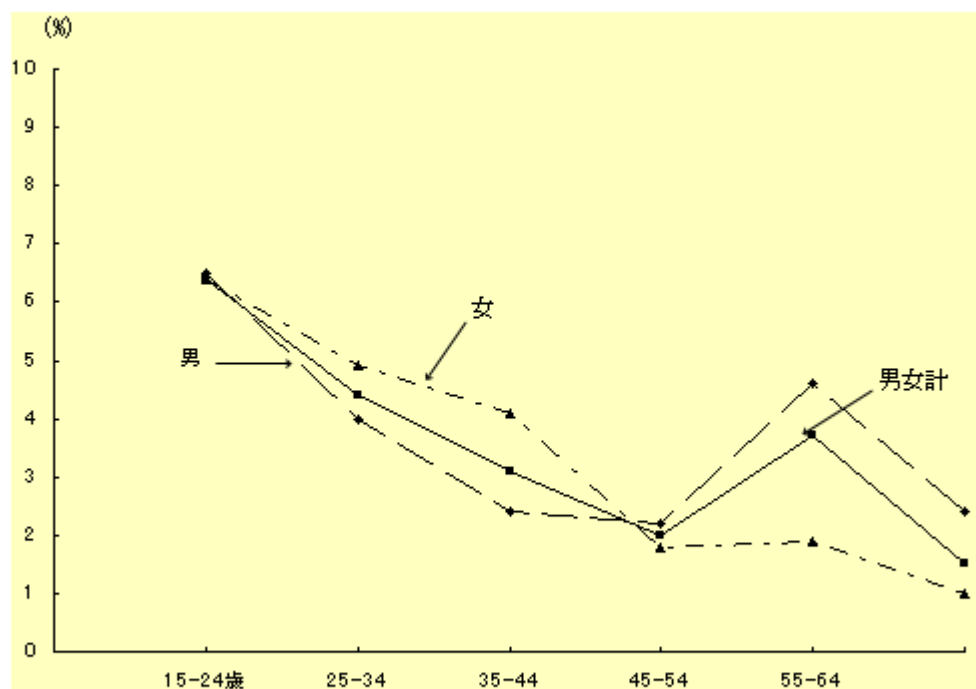
完全失業率を年齢階級別にみると、15～24歳が6.4%と最も高く、次いで25～34歳が4.4%、55～64歳が3.7%、35～44歳が3.1%、45～54歳が2.0%の順となっています。

前年と比べると、15～24歳で1.2ポイント、25～34歳で0.5ポイント、35～44歳と55～64歳で0.3ポイント、45～54歳で0.1ポイントそれぞれ低下しています。

男女別にみると、男性は15～24歳が6.5%で最も高く、次いで55～64歳が4.6%、25～34歳が4.0%、35～44歳が2.4%、45～54歳が2.2%の順となっています。女性は15～24歳が6.4%と最も高く、次いで25～34歳が4.9%、35～44歳が4.1%、55～64歳が1.9%、45～54歳が1.8%の順となっています。

前年と比べると、男性は45～54歳で0.1ポイント上昇しましたが、15～24歳で2.5ポイント、25～34歳で0.5ポイント、35～44歳で0.3ポイント、55～64歳で0.2ポイントそれぞれ低下しました。女性は15～24歳で0.4ポイント上昇しましたが、55～64歳で0.8ポイント、25～34歳で0.6ポイント、35～44歳で0.4ポイント、45～54歳で0.3ポイントそれぞれ低下しました。(図3、第5表参照)

図2 年齢階級別完全失業率(平成16年平均)



## 非労働力人口

平成16年平均の非労働力人口は219万人で、前年に比べ2万4千人(1.1%)増加しました。

男女別にみると、男性は69万3千人、女性は149万8千人で、前年に比べ男性は1万3千人(1.9%)、女性は1万2千人(0.8%)それぞれ増加しました。(第1表参照)